



西南学院大学・

図書館報

卒業生特集

世紀末と終着驛 —新しい門出のために—

文学部長 八木 幹

気が付くと、今世紀は既に90年代にはいって3年目。1世紀前のヨーロッパでは、産業の急速な発展と経済の繁栄が、物質文明の優先、俗物主義の横行を促し、功利主義と社交界の偽善ぶりが、成熟社会の退廃を示していた。ワイルドの戯曲、『サロメ』の怪しい美と官能の世界、ピアズリーの黒と線の技法と描写は、“世紀末”の様相と傾向を端的に示し、反社会の天才の“性愛と死”の主張を実現する。21世紀を前に、今世紀の吾々は、19世紀の自己主張の信念を確かめるだけの余裕もなく、輪郭を見失った“ボーダーレス”なる流行品の空転に、境界線を喪失して崩壊の危機にさらされる既成の権威、不安定な利害のもつれを知らされるばかりである。

大晦日に除夜の鐘を確かめ、そのまま新年を迎え、3月、卒業式に臨んで、4月、入学式に顔を出す。背中合わせの現象に、改めて“終りが始め”、“始めが終り”をのぞく想がする。

ヨーロッパを旅し、陸路、列車でイギリスへ向うと、主要都市で、通過驛と異なり、終着驛が次の目的地への起点になっている現象を経験する。確かに、この意味で、卒業式は現実には到着点を示しながら、早くも門出への気配を示す。完結性と連続の模様。「昨日の世界」のキップが必ずしも「今日の座席」を確保し、「明日の行程」を保障するものでもない。挫折、屈折を恐れぬ感性とねばりが新たな工夫と才覚を準備すべきであり、既成の知識、経験への安易な依存は許されぬ。事を当然現する感覚は、当然、危険な落とし穴を覚悟すべきであろう。

Fair is foul, and foul is fair

(January 1993)

目

次

卒業生へ贈る読書のススメ……………2

伊藤 治夫・吉武 春光

尾崎 恵子・二谷 彩子

図書館での思い出……………4

清水 耕介・久次 賢介

川口 朋子

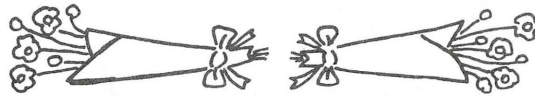
卒業後の図書館利用……………5

ECについて図書館で読む

松隈 潤……………6

第一参考図書コーナーの紹介……………7

集立ちゆく



卒業おめ

「悪書は良書を駆逐する」

経済学部教授 伊藤 治夫

読書といえば次のような話が思い起こされます。「もし無人島に行かされるとして、一つだけ持ってゆくことが許されるとしたら、あなたは何を持ってゆきますか」と問われた人が、「バイブルです」と答えた。その人がクリスチャンであるか否かは別として、この話は人間にとって、読書の大切さ、無限性を物語るものとして考えさせられます。「読書イコール勉強」と考える必要ありませんが、学校を卒業したら週刊誌とマンガ、新聞だけというのも淋しい気がします。むろん読書にもTPOがあって、リラックス時、未知への興味、仕事上の情報収集・研究等々いろいろあって、心の潤いになったり、情報を高度化し、精神の高揚に役立つ場合もありましょう。マンガも週刊誌も決して悪いわけではありませんが、時にはまとまった良書をひも解くことも必要かと思われま

す。「社会に出ると読書時間が無くなる」というが、無いと思えば常に無く、有ると思えばそれなりに時間は作れるものではないでしょうか。たとえば1日わずか10分でも1カ月続けると5時間、1年で60時間にもなります。出張時の車中の読書もよし、秋の夜長の活用もオツなもの。テレビだけでは思考力も鈍ります。

「書に記録すること」、そして「本を読んで、考えること」、これは人間に与えられた特権でもあり、また進歩の源泉ともいえましょう。良書に出合った時の感動、計り知れない影響は、時として友との出会いにも似たものです。良き書、良き友との出会いを大切にしたいものです。

「チェシャー猫を探しに」

商学部助教授 吉武 春光



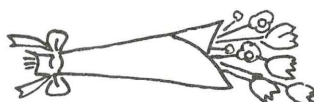
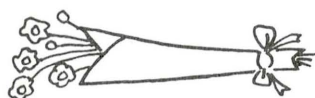
私は'90.8-'91.8の間イギリス中部のマンチェスタに滞在しました。私は理科系の出身で、専門書以外は殆ど読みませんが、同伴した家内は児童書が大好きで『イギリス児童文学散歩』（定松正著）で次の記事を見つけました。【ウォリントンの南郊にあたるグラベノール村の教会にはニヤニヤ猫の彫像が見られ、これが『不思議の国のアリス』のチェシャー猫のモデルになったといわれている。】著者のルイスキャロルが生まれ育ったのがマンチェスタの西に位置するチェシャー地方でした。家内と私は、そのわずかな数行の文章を頼りにチェシャー猫を探す冒険の旅に出かけたのです。自宅を出て車で1時間ほど西に走りました。農家が集まっている小さな村を幾つか通り過ぎ、小さな石の太鼓橋を渡ると、大きな教会が見えてきました。日曜日のお昼ごろでしたから中には沢山の人が集まっていました。尋ねると、おばさんが教会の横に連れて行ってくれました。指さされた先を見ると、ありました！時計台の壁の中腹に、小さな小さな猫の彫像が。教会にいた人達が出てきて、へーあれが…という感じでささやきあっていました。何人かの人が我々に話しかけてきました。しばし、皆とルイスキャロルやアリスのことを思い起こしました。文学書などをほとんど読まない私がチェシャー猫を介して見知らぬ人達と交流出来たのです。1つの文学に対する人々の思いの深さ、それを通じていかに世界が広がり、深まっていくのか。文学なんか…と思わずに、ひもといた1冊の本があなたの世界を広げるかも…？



グラベノール村の教会のニヤニヤ猫
（「不思議の国の“アリス”
求龍堂より）

君たちへ

でとう



—— 卒業生に贈る読書のススメ ——

「人生はマラソン」

文学部教授 尾崎 恵子

新しい年を迎え、各々胸の内に抱負をもって
おられることと思います。とりわけこの三月で
卒業される学生の方々は格別の思いがあるで
しょう。皆さんは四月からは社会人として世の
中に立っていかねばなりません。社会に出ると
今迄の様な学生気分は通じないでしょう。第一
に社会の規律はきびしい。それだけに覚悟して
望まなければなりません。その為には、先づ自立
心を持ち、又自己との闘いも必要となります。私
は毎年一月二日・三日に行われている恒例の大
学駅伝大会に大変興味をもっています。約百二
十km余りのコースを十五の大学の選手達が走
ります。一区間約二十kmを記録を目ざして走
ります。その間には平坦道もあれば登り坂、降り坂、
曲り道など容易ではありません。然しランナ
ー達が黙々と歯を喰いしばって走る姿は壮観です。
時折、ある者は疲れがでて、首を振ったり足をひ
きずったりその痛みをこらえ乍ら走っています。
彼ら達にはゴール迄走らねばならないという義
務感が強いのです。一つの事を自分の責任にお
いて全うすること、これはどんな事にもいえる
のです。もしここで落伍したならば、自己への挫
折さえ感じるでしょう。月並みのいい方ですが、
マラソンは人生を象徴しています。私は生涯の
中で記録を出すこともいいけれども、各々与え
られた目的に向かってそれを完走する事が大事
だと思います。しかも一歩一歩土を踏み、高跳び
をせず、おちついてマイコースを走り続けて
いってほしいと思います。又、人間には各々、個
性・持味・タラントが与えられています。これら
も生かしつつ社会の中で活躍して頂きたいと思
います。終りに感銘をうけた本として神谷美恵
子著『生きがいについて』(みすず書房)を紹介し
ておきます。

では皆様の御健闘を心よりいのりつつ。

「卒業しても図書館へ」

図書館情報サービス課 二谷 彩子

図書館で働いていると言ったら、さぞたくさ
ん本を読んでいるだろうと思われがちなです
が、料理しているだけでお腹がいっぱいになっ
てしまう人がいるように、毎日本ばかり見なが
ら働いていると、本でお腹がいっぱいになって、
本を読むのは好きなのですが図書館で借りて読
もうとは、私の場合あまり思わないのです。

と、いう訳で、卒業してまだ3年目ですし、
先輩として、社会人としてあまり偉そうなこと
は言えないのですが、卒業後に何か調べたいこ
とがあるときや、教養を高めたいときには図書
館はやはり強い味方です。この先、社会に出て
困難な問題にぶつかることも多いと思いますが
そんな時に図書館に来て答えが見つければいい
なと思っています。私もたまに、仕事が終わっ
てから閲覧室に行くのですが、そんな時、さっき
まで職場だった空間が、自分が本当に知りたい
ことを探し出していくことのできる、学生の時
とはちょっと違った空間になっているのを感じ
ることができます。

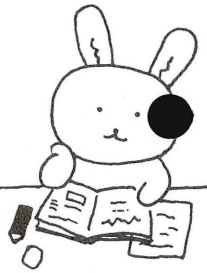
本学の図書館はもちろん卒業生にも開放され
ていますので、卒業後も気軽に利用すること
をお勧めします。これから色々な道に進んで、忙
しくて本を読むヒマもなくなる人もいますが、
今のうちに良い本と出会ったり、今し
か出来ないことを思う存分にして、残り少ない
学生生活を悔いのないものにしてください。そ
して間もなく始まる社会人としての生活を清々
しく迎えてください。

— 図書館それは貴女の新しい人生 —

経済学研究科 清水耕介

図書館報の原稿を依頼され、少々戸惑っているけど、とにかく後輩の皆さんの為に書いてみますね。まず図書館をうまく利用する方法というのが幾つかありますのでそれを紹介してみましょう。第一に1階の広いラウンジを待ち合わせの場所に使うのはいかがでしょうか。雑誌はあるわソファはあるわ至れり尽くせり状態で彼を待つ、きっと多少待たされてもあなたは満面の笑みで彼を迎えられるはずです。いいでしょう？第二に、図書館の中で新しい出会いを見つける。書架から本を取り出す貴女、視線を感じてそれとなく目を向けるとさわやかな微笑みが。微笑みをかえした貴女に照れる彼。彼はもう貴女のと・り・こ。あーもう、たまりませんねー。

では次に行きましょう。三番目は映画です。最近、映画は高くなりましたよね。ビデオ借りても毎日見れば結構なるし。そこで図書館のビデオライブラリーを利用するのはいかがでしょうか。名画と言われる映画はほとんどあるし、カウンターで申し込めば、すぐに見ることができます。ふるーいカレー屋の宣伝や福岡ポートのCMを見ることもなく、ゆっくり映画観賞できるなんて。そして貴女の隣には…。「どうかこのまま時間が止まってくれないかしら」なんて思ってしまうかも。こりゃーまいっちゃいますよねー。さあ皆さん、貴女の人生に色を添えるためにも、もちろん勉強するためにも、今すぐ図書館に行きましょう。もしかしたら今日、貴女に何か起きるかも。以上、つれづれなるままに書いてみましたが、図書館はいろんな意味できっと貴女に役立つはずですよ。



図書館での

一卒業生が

図書館の有用性

法学部法律学科 久次賢介

高校までの勉強は、暗記中心です。先生が言ったことを頭につめこんでいく作業です。しかし、大学での勉強は、そうではありません。自分で考える作業です。テキストや授業を通して得た知識を素材にして、自分なりに理論づけをしていかなくてははいけません。ここがこれまでの勉強とはちがうのです。そうすると、授業で先生が述べたことを機械的にメモするだけでは、当然足りません。自分なりに問題意識を持つことが必要です。授業でメモをとるにしても、何故、先生はそう述べるかを考えながらとることが必要でしょう。さらに、より深く知りたくなったときは、図書館を利用すべきです。図書館には、大抵の本が揃っています。さらに、先生の指定図書もあって、調べやすいと思います。

ここで、私が図書館を利用するようになった理由を説明しようと思います。私が一年の頃、憲法の授業で、日本国憲法の基本原理である国民主権を学説を挙げながら説明があったとき、高校までの勉強に慣れていた私は、どうして学説が数多く存在するのか不思議でなりませんでした。それと同時に、国民主権とは何であるのか私も考えるようになり、本を開いて調べるようになりました。しかし、本屋で本を買うにしても、出版事情が厳しいせいか、品切れが多く、しかも、かなり高価です。それが原因となって、図書館に行くようになりました。品切れで市販されていない本や、高価で手にいれにくい本が、ここでは手に取ることができるのです。これが、私が図書館に行くようになった理由です。

最後に、どうか大いに図書館を利用して下さい。大学での学問は社会に出て役に立たないと言う人がいますが、そんなことはないと思います。どのような職業に就こうとも、考えて判断する力は必要だと思うからです。

図書館に立ち寄る

文学部児童教育学科 川口 朋子

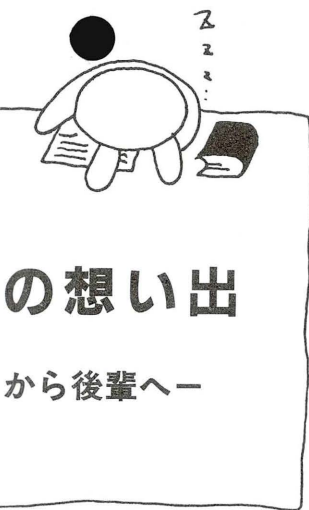
昨年の秋にとっても素晴らしい新図書館が完成し、ウキウキしていたのも束の間、最近はまだ勝手がよく分からないまま卒業してしまうのが、とても残念な気持ちです。

さて、「図書館の利用について」ということですが、このように書くとも図書館を訪れるのには、いつも何かちゃんとした目的がないといけなような感じがしますが、そうではないと思います。ちょっと空き時間ができたとき、皆さんはどのように過ごしますか？ 図書館の1階には趣味の雑誌、専門誌、新聞等がたくさんあります。入館システムも変わりましたので、「ちょっと立ち寄る」ことがし易くなったと思います。そして、そのような時間に皆さんの学部学科の本棚を散策しておく、レポート等の目的ができたときに利用し易いのではないかと思います。

また、閉館が午後9時ですので試験勉強や就職の為に勉強等集中してできますし、教育実習や卒業論文の文献は申請すると長期間貸出し可能ですので、利用されると良いでしょう。

図書館で調べ物をしているとき、文献がなかったり、古かったりすることがあるでしょう。また、読みたい本が図書館になかったりすることもあるでしょう。そういう場合、積極的に本を入れてもらいましょう。

西南学院大学の皆さん対象の図書館ですので、マナーを守って大いに利用して、有意義な学生生活を送ってください。



お知らせ

卒業後も図書館へ

ー 特別利用の手続きについて ー

本学卒業生で卒業後、資格取得、仕事上の勉学・調査、自己啓発等色々な目的で図書館を利用したいと考えている方は、特別利用者として利用することができます。なお、利用希望者は手続きに次のものがが必要です。

- | | |
|-------------|------|
| ①卒業（修了）証明書 | 1通 |
| ②写真（3×4 cm） | 1葉 |
| ③印鑑 | |
| ④手数料金（1か月） | 100円 |

◆利用期間◆

1か月単位で利用でき、最高6か月まで継続して利用することができます。その後、引き続き利用したい場合は、期限が切れるまえに更新手続きを行ってください。

◆貸出冊数および貸出期間◆

貸出冊数……3冊 貸出期間……15日間



「ECについて図書館で読む」

～マーストリヒト条約発効をひかえて～

法学部講師 松隈 潤

ロンドンの日本大使館に勤務していた頃のことであるが、91年12月のマーストリヒト欧州理事会を目前にして、英国政府、とくに外務省のEC担当官は多忙を極めており、私がアポイントメントをとって調査に行くのは容易ではなかった。ただ、こちらとしても霞が関の本省からの指示なので、何度か強引にアポイントメントをとりつけてEC担当官に会ってもらったりしていたが、マーストリヒト条約交渉という英国にとっても国益上重大な政治的局面の最前線で活躍した彼は、その後たいへん出世して偉くなってしまった。私は欧州勤務を終え福岡の本学に採用されたので、内心では今後EC関係の情報を入手することは困難になるのではないかと考えていた。

その私の思いこみが全くまちがっていたことを認識させられるまでに時間はかからなかった。本学の図書館には日本有数のEC資料センターが設置されていたからである。マーストリヒト条約は正式には、“Treaty on European Union”というのだが、欧州における経済通貨統合、政治統合の両者を含んだ包括的条約であるため条約本体と付属議定書、宣言等を合わせると250ページ以上の本になってしまう。EC資料センター担当の古庄氏にご案内いただいて入った同センターの書架にこの条約を見出した時の感動を忘れることができない。ここはブラッセルでもストラスブールでもないが、我々は欧州の一般市民と同じスピードでECの新しい情報にふれることができるのである。

本学のEC資料センターは駐日EC委員会から最大規模のステイタスを付与されており、資料的には東京大学、上智大学にも匹敵する。ECの公式資料として“Official Journal of the European Communities (EC公報)”、“General Report on the Activities of the European Communities (年次報告)”、“European Court Report (欧州司法裁判所判例集)”等が完備されており、しかも担当の古庄氏が資料に精通しておられるので迅速かつ確実に当該資料を入手できるという高い評価が大学内外よりなされている。

さて、それではこれからECについて学びを始めてみたいと考えている学生を対象に若干の資料・著作を紹介してみたい。まず新しい動きを追いたい方々は、EC委員会駐日代表部広報部発行の『月刊ECジャーナル』に目を通しつつ、図書館2階に設置されている英字新聞“Financial Times”を読むべきである。92年12月のエジンバラ欧州理事会の概要をつかむことも可能だ。次にEC関係(政治、法、経済、社会等広いジャンルで)の研究者による学術論文へ進みたい方々は『日本EC学会年報』(日本EC学会編・有斐閣)所収の諸論文、『ジュリストEC特集号』(第961号1990年8月・有斐閣)に目を通してもらいたい。基礎的知識がないと手ごわいと感じた方々は入門書として『EC統合・欧州連合入門』(藤原豊司・田中俊郎著・東洋経済新報社)、『EC・欧州統合の現在』(金丸輝男編著・創元社)を一読すると良いだろう。

最後に個別のテーマについて良書を紹介すると、経済通貨統合に関して、『欧州通貨統合』(藤井良広著・日本経済新聞社)、政治統合に関して『ヨーロッパの政治統合』(J.-Cl. マスクレ著・藤木登訳・白水社)、法的側面に関して『EC法入門』(P. マティセン著・山手治之他訳・有斐閣)等がある。蛇足になるが『外交フォーラムNo.34』(1991年7月、世界の動き社)にEC特集があり、筆者の現地報告も掲載されているので読んでもらいたい。

君も資料収集のエキスパートになれる！



—第1参考図書コーナーの紹介—

「何かについて調べたい。」という理由で、図書館を利用する人は多いと思います。この中で、何人の人が自分が欲しい資料をすぐに見つけることができるでしょうか。

図書館にはたくさんの図書、雑誌、新聞があり、この大量の資料の中から自分が欲しいものを探すことは大変なことで、時間ばかりかかってしまいます。そんな時に役に立つものが第1参考図書コーナーです。これを使いこなせば、簡単に探しているものを見つけることができます。

【第1参考図書コーナーとは】

図書館にある百科事典、辞書、辞典、年鑑、便覧、索引などの参考図書の中から、資料を探す時に役に立つものを集めた参考図書のコーナーです。ここで調べれば、何か探す手がかりを見つける事ができるでしょう。

【場所】

大学図書館1階の玄関に入って右側にあります。利用者は自由に調べることができますが、貸出はできません。

【配列】

参考図書を次の7つの種類に分け、請求番号順に並べています。

- | | |
|----------|-----------|
| A. 百科事典 | E. 人名 |
| B. 辞書 | F. 地名 |
| C. 目録、索引 | G. 機関、団体名 |
| D. 年鑑 | |

【どんなことが調べられるか】

1階カウンターでの問い合わせのベスト3は、

- 第1位 あることがら(環境問題、外国人労働者問題等)について書かれてある文献
- 第2位 用語の意味
- 第3位 人物に関する文献

このような質問も第1参考図書コーナーにある図書を利用すれば簡単に調べることができます。この他に、(1)図書の著者名(2)地名(3)大学等の研究機関の住所等も調べることができます。

【どう調べればよいのか】

例えば、環境問題に関する文献を探すとします。情報源には図書、雑誌、新聞が考えられます。図書から探す場合は、「日本件名図書目録」(C:025.1.15-)でキーワード「環境」の項目を調べると、たくさんの環境に関する図書が見つかります。

同様に、雑誌の中から環境問題の記事を探すなら、「雑誌記事索引」(C:039.0.7-)、新聞記事なら、「読売ニュース総覧」(C:070.39.3-)を見れば、簡単に見つけることができます。

もし、このような探し方を知らなかったら、図書館を当てもなく、うろうろすることになるでしょう。ぜひ1度第1参考図書コーナーに行ってみて下さい。きっと、良かったと思えるはずです。これで、あなたも資料収集のエキスパートの仲間入りです。

4月の全面オープンをめざす

〈増改築ゴール間近〉

去る1992(平成4)年11月30日に旧館改造部分が完成し、引き渡しを受けました。12月に入り、書架組み立て、机・椅子などを搬入し、1993(平成5)年1月8日から旧館部分閲覧コーナーの利用を開始いたしました。

旧館部分の座席約320席を加え、これで前期試験期に一時的に半減していた座席数は、合計約760席と大幅に改善されました。しかしなお皆さんの譲り合いの協力をお願いいたします。

今後の作業内容は、概ね次のようになっています。

◎開架部分

- ①旧館部分を合わせて図書の再移動
- ②現在、閉架に仮配架中の洋書を開架に移動
- ③各サイン、案内標示板の設置
- ④ビデオ、CDなど視聴覚資料の展示

◎閉架部分

- ①学術雑誌バックナンバーの移動
- ②法令・判例室の整備
- ③教授閲覧室の整備
- ④国連寄託図書館資料室の整備

以上の作業を、春季休暇中に行い、4月には改めて全面開館となります。ご期待ください。
なお、上記作業期間中は、全館又は部分的に利用できない場合があります。今後の掲示にご注意ください。

報 告

〈研修・出張〉

◎事務システム基礎講習会

9月16日～18日 静岡 立石司書出席

◎私立大学図書館協会秋季西地区部会

10月2日 鹿児島 坂口・有森係長出席

◎国連寄託図書館会議 11月26～27日

愛知県立芸術文化センター 古庄司書出席

⑤西南学院大学図書館教職員利用規則改正(案)について

⑥西南学院大学図書館学生利用規則改正(案)について

⑦視聴覚資料・FDの購入について

編 集 後 記

〈図書館委員会〉

11.19

- ①図書館改造工事の進捗状況について
- ②平成5年度学部雑誌の継続購入について
- ③平成5年度個人研究図書費による雑誌の購入申請について
- ④平成5年度大学図書館予算申請(案)について

入試が終われば、やがて卒業の季節となります。
「早く成長するものはすぐに枯れ、遅々と成長するものは永続する」(ホーランド、米、作家)
余り急ぎ過ぎず、豊かな教養と幅広い見識で地歩を固め、社会人として有意義な人生を送りたまえ。(J)

